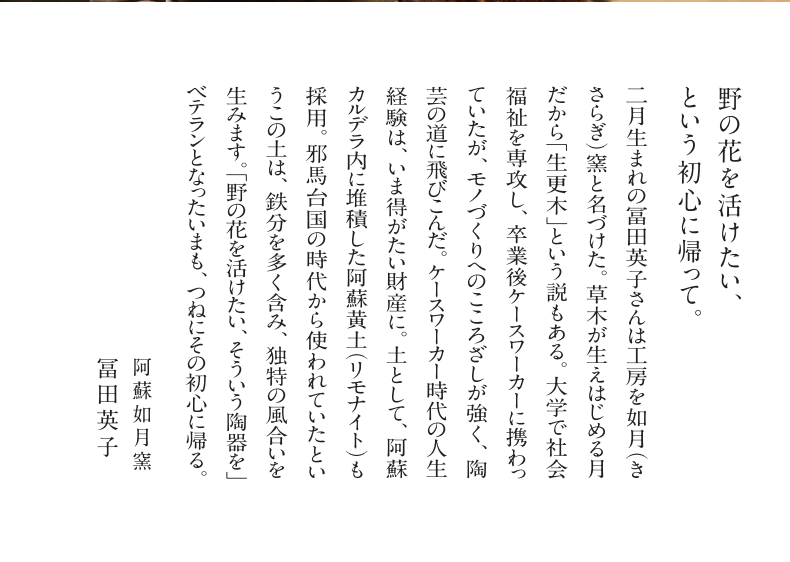




カルセラという大きな器。
ここに身を置き、ここで作っていく。
阿蘇好きの父の感化でこの自然に魅せられた。庵と呼びたい仕事場を山のふもとに持つ山下太さんは、時間があれば奥へ奥へと山道を逍遥します。かつてこの地は僧侶の住まう「坊」がたくさんあったところ。修行や思索にふさわしい静まりが満ちている。世界に冠たる阿蘇のカルセラという壮大な器。その器にわが身を置き、日々、自らの掌のなかで器を育てる。とても美しい関係だ。染めるのはもちろん阿蘇の草木の釉薬。今日も掌のなかに阿蘇のこころが焼き上がっている。工房に並ぶ作品群は、ふと物思いにふける古人のように無口で創造性に富んでいる。

阿蘇坊窯 山下太



野の花を活けたい、
という初心に帰って。

二月生まれの富田英子さんは工房を如月(きさらぎ)窯と名づけた。草木が生えはじめる月だから「生更木」という説もある。大学で社会学専攻し、卒業後ケースワーカーに携わっていたが、モノづくりへのこころざしが強く、陶芸の道に飛びこんだ。ケースワーカー時代の人生経験は、いま得がたい財産に。土として、阿蘇カルセラ内に堆積した阿蘇黄土(リモナイト)も採用。邪馬台国の時代から使われていたというこの土は、鉄分を多く含み、独特の風合いを生みます。「野の花を活けたい、そういう陶器を」ベテランとなったいまも、つねにその初心に帰る。

阿蘇如月窯
富田英子



ぼくは、兼業主夫と
表明しております。
漫画の主人公に似ているから、花ちゃん。そのニックネームを中村しづ子さんは阿蘇の自らの工房名とした。夫の岸勇太さんは福岡出身。窯を開こうとあちこち見て回っているうち、花ちゃんと出会い夫婦に。看板は「花」だが、ふたりの協同の工房というわけではない。陶器作りはまったく別々の作業であり、徹底的に不干渉。花ちゃんの作品の特徴はほのぼのとした童(わらべ)の絵付けだ。陶房樂の夫は妻の作品を尊敬している。「ぼくは兼業主夫と表明しております」。家事いっさいを引き受けるのは、彼女にいい仕事してもらいたいから。誇らしげである。

工房花 中村しづ子
陶房樂 岸 勇太

火の国阿蘇の
恵みのブランド

然
zen
A s o C i t y

あるがまま、という貴さ。
人と自然が共作する阿蘇。

然についてのお問い合わせは、
阿蘇市「草・観・然」活性化事業推進会議事務局
(阿蘇市観光まちづくり課)
TEL. 0967-22-3174 / FAX. 0967-22-4566

aso-zen.com

- 阿蘇の自然を舞台にした人びとの営みこそ大きな力を持っている、という考えで2013年秋にスタートした「火の国阿蘇の恵みのブランド-然」。活動の広報として、お一人お一人のポスターを制作しています。
- 「然の人びと」は現在も取材進行中です。輝いている阿蘇人をどしどしご紹介ください。自薦他薦を問いません。



CONTENTS もくじ

- 04 平成26年度市政報告会
 - 08 **特集** 阿蘇市の教育が電子黒板で変わる！
 - 10 阿蘇市のニュースをお届けする フラッシュニュース
 - 12 まちの話題
 - 16 人事行政運営状況の公表
 - 18 衆議院議員総選挙
 - 19 阿蘇広域行政事務組合平成25年度決算報告
 - 20 市役所からのお知らせ
 - ▶ 阿蘇土地改良区総代選挙
 - ▶ 農業委員選挙人名簿の登録申請
 - ▶ 市議会議員一般選挙立候補予定者説明会
 - ▶ 国保高額療養費自己負担限度額の変更
 - ▶ 児童扶養手当法の一部改正
 - ▶ 軽自動車税額の変更
 - 24 暮らしの情報
 - 28 年末年始のお知らせ
 - 29 自衛隊採用試験・食改だより
 - 30 自慢の学校 ▶ 一の宮中学校
 - 31 大事にしたい、懐かしい阿蘇の生活 No.33
 - 32 図書館へ行こう！ ▶ オトナの読書案内
 - 33 人権作文 ▶ 山部 優太さん
 - 34 暮らしカレンダー・お慶び・ご寄付
 - 36 地産地消クッキング
 - ▶ チキンと野菜の香味ソースかけ
- さわやかフレッシュマン ▶ 笹原裕平さん



阿蘇体育館で11月8日、子どもたちの芸術の祭典、阿蘇市こども芸術祭が開かれ、14団体が出場し、子どもたちが数カ月にもわたる練習の成果を披露しました。

ことしは特別ゲストとして市出身のピアニスト志賀総学さんによるピアノ演奏が披露され、芸術祭に花を添えました。

また、11月2、3日には、市文化協会主催の文化祭も開かれ、約3,000人の来場があり大いに賑いました。

(写真：山田小の虎舞)

夢を追いかける青少年の声を届けますー

夢を追いかけて

私は将来、獣医になりたいと思っています。もともと動物が大好きで、たくさんの動物を助ける仕事につきたいと思ったからです。また、テレビで獣医の仕事のようすを見て、すてきな仕事だと思ったからです。

それぞれの人にとって大切な動物が、元気でそれを見た人たちも笑顔になり、たくさんの人から「ありがとう」と言ってもらえるような獣医になりたいです。

さとう かれん
佐藤 華恋 さん

尾ヶ石東部小学校・6年

chase a dream No.11 Karen Sato